

ご挨拶

桐蔭学園中学校・高等学校
中等教育学校
校長 岡田 直哉

本日はご多忙のところ、桐蔭学園「アクティブラーニング公開研究会 2017」にお運びくださり、まことにありがとうございます。一昨年、昨年に続き、3回目の開催となります。

本校は1964（昭和39）年に創立いたしました。「自由」「求学」「道義」「愛国」といった4項目からなる建学の精神を掲げ、次世代に向けて真のエリートを育成するとの理念に基づいて教育を展開してまいりました。いち早く習熟度別授業を取り入れて知識・技能の錬成をはかり、夏・冬の宿泊研修行事（団体訓練）によってリーダーシップ、フォロワーシップを育成することで、その理念を体現してきたのです。

2014（平成26）年に創立50周年を迎え、これを機に、私たちは次の50年を見据えた教育改革に着手する決断をいたしました。それは「自然を愛し、平和を愛する国際人たれ」という1項目を建学の精神に加えることからスタートしました。改革の基本ビジョンは「自ら考え判断し行動できる子どもたちの育成」です。

この背景にあるのは、知識基盤社会、グローバル社会の到来です。今後、ますます競争と技術革新が進み、幅広い知識と柔軟な思考力が求められることでしょう。さらには、性別や年齢を問わない社会への参画が、今以上に求められることにもなります。多様化する社会で、主体性・協働性を発揮する力が要求されるということなのです。

私たちは2015（平成27）年、アクティブラーニング型授業を本格的に導入することを改革の柱と位置づけ、本物のアクティブラーニング型授業の実現を目指すべく、第一人者である溝上慎一・京都大学教授に本校の教育顧問としてご就任いただきました。以来、学内外での研修・研鑽を重ね、当初から完成年度として位置づけてきた3年目を迎えております。

アクティブラーニング型授業を進めていく中で、より多様性を尊重し、協働性を育てやすい教育環境を実現することはできないか、と考えるようになりました。そのような中で私たちが出した答えは男女共学化です。現在、男子部と女子部に分かれている高等学校を共学化し（2018年度の新入生より）、同じく分かれている中学校を中等教育学校（現在は男子のみ）に一本化して共学化する（2019年度の新入生より）という決断をいたしました。いわば「アクティブラーニング型授業の先にあった共学化」といえましょう。

本校の新しい学びは、アクティブラーニング型授業、そしてそれをベースとした探究授業、キャリア教育を軸に展開しています。本日はその一端をご覧いただき、ご参加の皆さまの忌憚のないご意見を賜るべく、公開研究会を開催するに至った次第です。

今後とも、あいかわらぬご指導、ご鞭撻のほど心よりお願い申し上げます。